

## 第4回PI委員会傍聴者アンケート及びインターネット中継結果

## 1 会議概要

日 時：平成24年4月3日（火）10：30～12：30

場 所：静岡県庁別館9階第2特別会議室

出席委員：石田委員長、寺部委員、松浦委員、高井委員、目加田委員

傍聴人数：13人（13人提出）

## 2 アンケート結果

## ①PI実施計画について

- 事業主体は静岡県であるが、実施する場所は沼津市であるにもかかわらず、沼津市の考え方や目指すものが具体的に説明されていない
- パブリックコメントとその対応において、鉄道高架事業について見直しをするという表現があったが、実際には反映されておらず、鉄道高架ありきの実施計画になっている
- パブリックコメントについての意見に対して、一部計画の修正がなされたが、大きな流れは変わっていない
- 沼津のまちづくりやイメージデザインが確認されていないため、Step2ではどのような沼津にすべきか話し合ってもらいたい
- Step2の先進地視察は鉄道高架の良さを印象付けるようなものにして欲しくない。橋上駅、自由通路についても視察を行うべき
- Step3、4で代替案と評価項目を設定する際に詳細な情報提供をして欲しい。
- 車座談議、勉強会には、参考人として第三者や近隣市町村の責任者を入れるべき
- 勉強会の参加者は事前に選出されたメンバーということだが、選出する人は誰か不明確である
- 勉強会の参加者は20人～30人ということだが、もっと多くすべき
- 市民の意見を聞く場合、地区センターや文化センターのような広い場所で、多くの市民が参加できるように配慮して欲しい

## ②PIの意見聴取について

- ヒアリングした結果をまとめ、分類、分析した資料は市民の意見が分かりやすく良い
- ヒアリングの結果は個人、団体等を公表すべき
- 事業者の声を集めてもらいたい。産業界が高架に期待していることを聞いてもらいたい
- 商工業者の意見が少ないのは、当局や推進母体業者に気兼ねして意見を述べないのではないか。直接、数人の社長等から意見を聴取すべき

### ③会議の運営について

- 委員の話が聞き取りにくかったためマイク、スピーカー調整をして欲しい
- 事務局を当局が務めることに納得できない
- 事務局には、正確な情報、詳細な情報を出すように対応して欲しい
- ネット中継による松浦委員の声が聞きにくかった

### ④P I 委員に対する意見

- P I 委員の検討姿勢は、信頼を得るための努力が感じられる
- P I 委員会によって事業ができなかったり遅れた場合、P I 委員はどう責任を取っていただけるか疑問である
- P I 委員は市民から直接、意見を聞く場を持つべきである
- 静岡県、沼津市に対して、情報公開を促してもらえたことを評価する

### ⑤財政状況について

- 財政不足による住民サービスの低下を感じる
- 沼津市の財政は積立金を取り崩し、退職金も借金しなければ払えないと伝え聞いている
- 沼津市の全体的な財政状況を示さなければ、P I 実施計画に大きく影響を及ぼすと思うので配慮してほしい
- 市民の多くが沼津市の財政に不安を感じている
- 国も県も財政難であり、津波対策に1円でも多く金額をさくべき
- 身の丈にあった事業であるか検証して欲しい

### ⑥その他

- 現状の沼津市自治会は市民を代表していない
- 知事は、不幸にならないようにと言うが、今現在不幸に進んでいることに気付いて欲しい。鉄道高架事業が停滞し、マイナス面ばかりである
- 反対者は高架を止めなければ市長や市職員との話し合いを受け付けないと、一方的なことを言っていること、思想的な活動家もよそから入ってきていることを知事に知ってほしい
- 反対派が一握りであるとか、企業誘致に失敗したなどを今でも言っている人がいることが情けない
- 本事業計画を白紙に戻すべき。
- 貨物駅移転も含め鉄道高架事業そのものをゼロベースで議論すべき
- 鉄道高架事業について検討、検証されたとしているが、検証された証拠、根拠が公開されていない
- 鉄道高架事業が沼津市民の活性化、沼津市民で良かったということにつながっていることを具体的に説明して欲しい
- 鉄道高架事業が進んでいるというのはカモフラージュ。まだ着手したに過ぎないので、投下費用は今後のことを考えると微々たるものだ
- 勉強会には是非参加したい

## 3 インターネット中継結果

- アクセス台数 パソコン 32 台
- 延べ視聴時間 25.04 時間